

敬和会と地域をつなぐ広報誌【リンク】

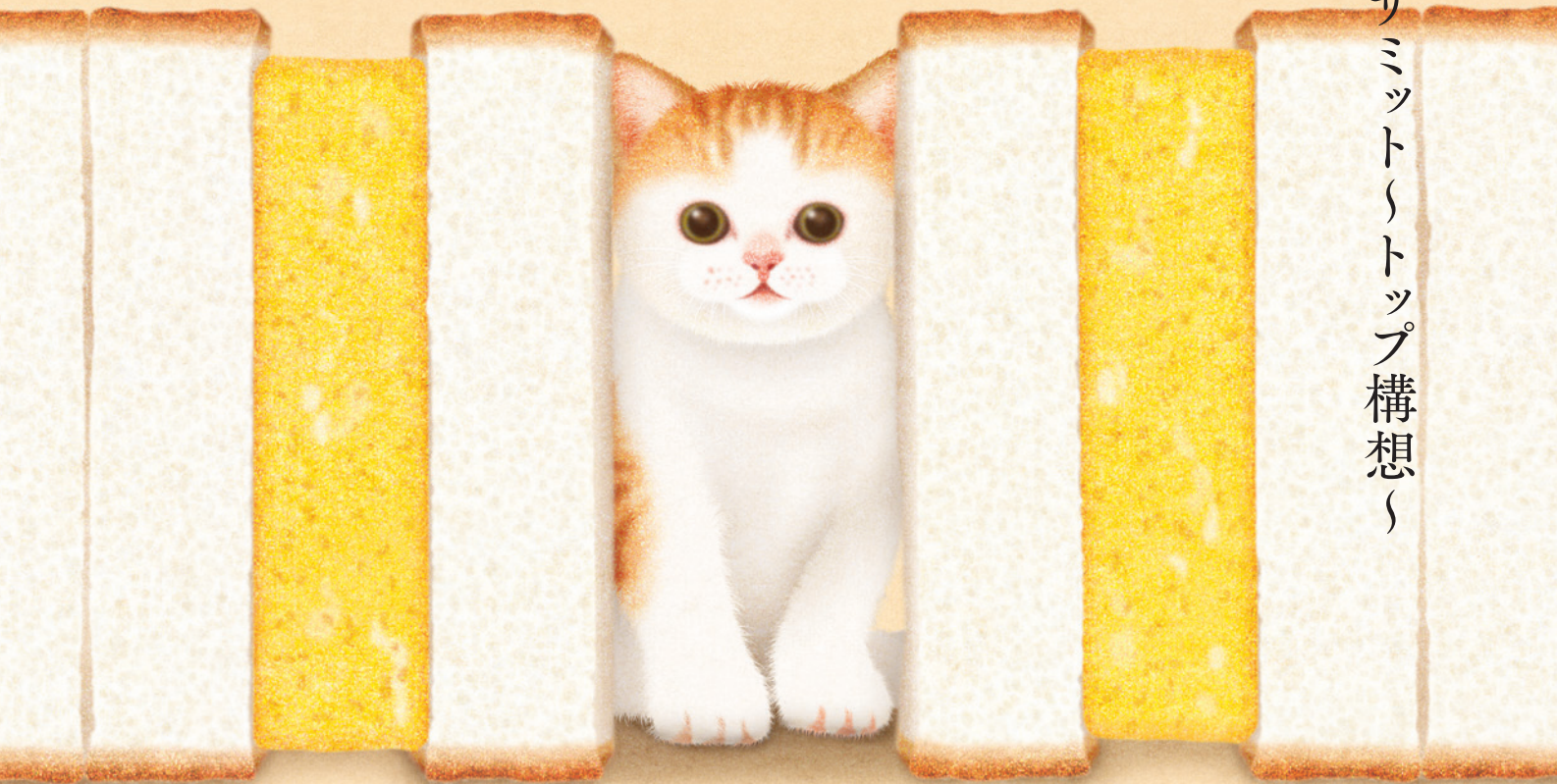
Link

vol.18 冬号

take free
ご自由にお持ち帰りください



敬和会サミット（トッパ構想）



祝 創刊5周年

敬和会の未来図を描く

院外広報誌Linkの創刊
5周年を記念してご挨拶申し上げます。

2020年は、2月の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の蔓延と感染症対策に始まりました。大分岡病院では、4つの病棟の一つをコロナ感染症専用病棟としてゾーニング(空間を用途に分けて配置すること)を行い、対応スタッフもゾーニング専任としました。地域医療支援病院として、通常の紹介患者や、救急車で搬送される患者の診療を行う責任はあるものの、院内感染によるクラスター発生を避けるために、これらの患者さんの受け入れを大幅に制限せざるを得ませんでした。この期間、地域医療支援病院としての機能を十分に果たすことができなかったことは痛恨の極みでした。しかしながら、その後徐々にこの感染症の実態と対策が明らかになってきたことにより、ようやく通常の診療体制に戻りつつあるのが現状です。このようなパンデ

ミック(感染の大流行)が起こることは、めったにあることではありませんが、すべての職員の努力と協力、そして日ごろからお世話になっている医師会、行政そして地域の企業の皆様方のご支援により、ようやく先が見通せるところまで来しました。

さて、新型コロナウイルスについては、アフターコロナ(after corona)は元の世界に戻るのではなく、ウイズコロナ(with corona)すなわちコロナ感染症が蔓延しているときに変化した個々人の行動変容や社会活動の変化が、今後

構想である敬和会ヘルスケアリンクは、※DX(デジタル・トランスフォーメーション)の積極的な活用によるヘルスケア・スマートリンクとして進化しようとしています。このため、現在、計画が進んでいる新病院もスマート・ホスピタルとなる予定です。

も持続すると考えられています。敬和会もこのような変化に応じた対応が求められるわけです。

その一方で、以前から取り組みを進めている敬和会独自の地域包括ケア

この、「スマート」という言葉の意味は、最新のデジタル技術を導入して、これまでよりも安全でさらに効率的な医療サービスを提供すること、これまで別々に運用されていた基幹システムや各種サービスの情報を統合すること、待ち時間や不必要な手間をなくして、必要な情報へのアクセスを迅速化することなど、あらゆる情報を利用しやすくするというものであると理解しています。

患者さん・利用者さんを中心にして、このヘルスケア・スマートリンクを構築し、運用することで、今後とも敬和会独自の地域包括ケア構想を推し進めていきたいと考えています。

地域の皆様にも、ぜひ、期待していただくと同時に、これまで同様にご支援を賜りたくお願い申し上げます。



※DX(デジタル・トランスフォーメーション) 進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること

理事長兼
大分岡病院院長
岡 敬二



考え、行動し、結果を出せる リハビリテーション医療

院外広報誌 Link の創刊
5周年、おめでとございます。

当病院は2014年に回復期リハビリテーション病棟(60床)を立ち上げ、2015年には全病床を回復期リハビリテーションとし、現在99床となっています。立ち上げ時にくらべ現在では年間受け入れ入院患者数は倍以上となっています。また、患者さんの数だけでなく日常生活の自立度や機能などのリハビリの効果、満足度も上がっており、診療の質に関しても日々向上しています。

しかし2020年は新型コロナウイルスの流行で当院を含め敬和会全体も大きな打撃を受けることとなりました。利用者や地域の方々にはご心配、ご迷惑をおかけしたと思います。皆様もご存知の通り2020年3月に他院から転院してきた入院患者さんより新型コロナウイルスが出ました。幸い日頃から行っている感染対策のおかげも

大分リハビリテーション病院
院長 井上 敏



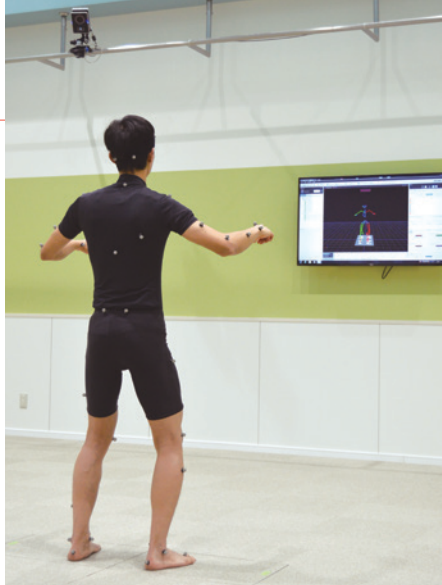
あり院内で感染が広がることもなく、影響も最小限に抑えることができました。しかし残念ながら皆様の病気の予防、健康増進のために行ってきた健診センターや内科・小児科外来は閉鎖することとなりました。非常に残念で皆様には申し訳なく思っています。その後感染対策のための制限はあるものの比較的早期に入院診療、リハビリ外来は通常診療に戻ることができました。

このような経過もあり当院はよりリハビリテーションに特化した病院になりました。2016年に以前の「大分東部病院」から病院名を「大分リハビリテーション病院」に変更し、敬和会のヘルスケア・スマートリンクの中の回復期医療を担っています。理学療法、作業療法などの運動療法、摂食嚥下^{せつしょくえんげ}も含む言語聴覚療法など基本的なことから、三次元動作解析による評価、排尿リハビリテーションケア、HAL[®]・歩行アシストなどの機器を用いた歩行サポート、歯科訪問診療を入れた口腔ケアなど、早期の自宅あるいは在宅復帰を目指すリハビリテーションを行っています。今後も最新の機器、知識を取り入れ、高齢者・社会を支え働いている方々・スポーツを行う若年者などすべ

ての年代を対象にし、リハビリテーションを通じて、病気からの日常復帰はもちろん、障がい予防、介護予防、運動能力の向上などに取り組んでいきたいと思えます。そして大分市東部の患者さんだけでなく、大分市、大分県全域そして県外へとリハビリテーション医療をより一層拡充し、地域に貢献していきたいと思っています。

今後、大分岡病院と大分リハビリテーション病院が一つになる計画もありますが、その中でリハビリテーションを担う立場としてより一層発展、貢献できるように考え、行動し、結果を出せるようにスタッフ一同頑張っていきたいと思えます。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



三次元動作解析



HAL[®] 歩行アシスト

地域のニーズに応え、 満足のいくサービスを提供する

大分豊寿苑は皆様のご支援のもと、2020年9月8日に25周年を迎えることができました。50周年に向けてこれからの25年後がどうなっているのか全く分かりませんが、近い将来の大分豊寿苑の方向性を考えてみたいと思います。

2018年4月に6年に1度の診療報酬と介護報酬の同時改訂があり、介護制度が大きく変わりました。介護老人保健施設（老健）の評価基準が細分化され、難易度も上がりました。このため最上位を取得することが更に難しくなりました。在宅復帰率、ベッド回転率をはじめとして、重度の人（要介護4又は5）の入所割合、リハビリの充実度、喀痰吸引や経管栄養の実施割合等の10項目の達成度毎の点数の合計で、5つの型に分類されることになりました。毎月評価されますが、大分豊寿苑は改訂があった2018年4月初から最上位の超強化型（90点満点の70点以上必要）を取得

し、現在まで維持しています。

介護職の求人サイト「介護ワーク」に よりますと、2020年3月時点で全国に老健は4322施設あります。そのうち超強化型老健は441施設（10・2％）です。全国的にみて超強化型老健を取得すること、維持することがいかに大変かを示しています。

大分県のホームページによりますと、2020年4月1日現在で大分県に老健は70施設、大分市に19施設あります。超強化型老健は大分県で9施設（12・9％）、大分市で5施設（26・3％）

大分豊寿苑 施設長
岸川 正純

です。大分県は超強化型老健の割合が全国平均より少し高く、県庁所在地の大分市は更に高くなっています。

大分豊寿苑が超強化型老健を維持しているメリットは、利用者さんにとっては在宅復帰できる可能性が高まることです。さらに在宅復帰した利用者さんに、少しでも長く自宅で元気に過ごしていただけるよう、在宅支援機能の充実も維持できています。施設側としては、介護報酬が上がるため経営が安定し、職員は安心して働けます。最上位の評価基準を満たしているということは、それに相応しい人員の配置、医療、看護、介護やリ

足感を得られます。各専門職の多職種協働による達成感もあります。充実したスタッフ、設備のもとで自身のスキルアップも図れます。

団塊の世代が医療や介護の必要度が増す75歳以上に全員がなる2025年問題（推計531万人）が近づいています。大分豊寿苑はこれからも現状に決して甘んじることなく、地域のニーズに応え、利用者さん、ご家族に満足していただけるサービスを提供して、増え続ける高齢者を支えていきます。今後とも皆様の暖かいご理解、ご支援のほどよろしくお願い致します。

ハビリのサービスを提供していることを認められたことになります。職員にとっ ては、在宅復帰率とベッド回転率が高く、重度の入所者が多いので、入所・退所が頻回で毎日が慌ただしく大変です。しかし在宅復帰を目指す利用者さんをサポートしているというやり甲斐や満



TRXを使って
全身のリハビリ



インカムで
スタッフ間の
情報共有を行う

現在そして未来へ 地域と共に歩み続ける

2014年10月に開設したすばるは、2021年で7年目を迎えます。開設当初は病床数15床の診療所としてオープンしましたが、6年の間に運営が大きく変わりました。現在は訪問診療が主軸のクリニックとして地域の皆様のニーズに応えながら、地域と共に歩み続けています。

特に力を入れているのが次の二つの事業です。一つ目は「定期ケアマネジャー・主治医意見交換会」。月に2回開催しており、地域のケアマネジャーが担当している利用者さんについて、その主治医と直接話をし、利用者さんの状態や今後の治療法など情報交換を行うことで、利用者さんにとってより良いサービスの提供ができるように協働しています。

二つ目は「寺子屋すばる塾」です。訪問診療を行う中で高齢者ケア施設のスタッフとの連携を図り、入所者さんの健やかな生活を支援するために「医学的知識の勉強会」を開催しています。

施設スタッフが医療についての知識を持つことで、入所者さんの状態の変化にいち早く気づき、即対応ができることを目標にしています。

どちらの事業も新型コロナウイルスの影響で開催の継続が危ぶまれましたが、意見交換会は面談形式から電話での対応に変えることで、今まで遠

方で来院できなかったケアマネジャーも、気軽に参加していただけるようになりました。また、すばる塾は、これまでの開催分を動画で保存しているの

で、希望者にURLをお知らせして、YouTubeの限定公開の形式で視聴していただいています。時間的な制約がなくなったことで、これまでより多くの方が参加しています。この二つの事業は大変好評で、今ではすばるにとって欠かせない重要な事業となっています。

また「働き方改革」についても当クリニックは少人数のスタッフでの院内業

務の効率化を目指し、①看護部を2班に分け、訪問診療の先行介入と緊急事例の迅速対応、②事務職員をメディカルアシスタントとして、往診の効率化を実践しています。

今は新型コロナウイルスの影響により思うような展開は出来ていませんが、今後も新しい取り組みにチャレンジし、日々の業務の質を高め、患者さんに満足してもらえるように充実した訪問診療にしていきたいです。

これからも一つの区切りである10周年を目指してチャレンジすることを忘れずに、前向きに走り続けます。

在宅支援クリニックすばる
院長 姫野 浩毅



寺子屋すばる塾



訪問診療に出かける様子

精神疾患の治療戦略

2011年、地域医療計画で指定されていた、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病の4疾病に、新たに「精神疾患」が加わり5疾病となりました。この5疾病の中で最も患者さんが多いのは精神疾患です。少し古い資料ですが、2011年には全国で320万人を超える方が精神科を受診しました。これは国民40人に1人が受診した割合になります。

しかし、ここで気になることがあります。4疾病は全て具体的な病気の名前です。それに対して精神疾患は病気のジャンル名です。精神科を受診する患者さんはうつ病や統合失調症、認知症の患者さんたちです。病名も病態もさまざまです。精神科を受診する患者さんが多いのも当然です。

身体疾患の4疾病には個々に具体的な予防戦略・治療戦略が構築されていますが、精神疾患には多様な疾患が含まれています。統合失調症の患者さんに完全治癒は望めません。症状をコントロールし、公的な支援を受けながら一人で社会生活を送ることができる、これが統合失調症の治療目標でしょう。

しかし、うつ病では完全治癒が目標になります。精神疾患という大きな領域の治療戦略をひとつにまとめるのは難しいと思われ、精神疾患の地域医療計画作成も難航しています。

さて、精神疾患に、難病に指定された疾患はありません。治癒が期待できない統合失調症でさえ難病には指定されていません。厚生労働省に難病指定されているのは身体疾患のみです。精神疾患も治癒不能な疾患は難病に指定していただきたいと考えます。難病に指定され治療費が公費になれば、患者さんの経済的負担が少なくなり、さらに経済的自立に繋がり、社会復帰も早まると推測されます。このあたりに「精神科疾患」治療戦略の糸口がありそうです。



佐伯保養院 院長
廣瀬 就信

国際化を目指し、 東京にヘルスケアの ネットワークを

敬和国际医院は、敬和会が初めて東京に設立した医療機関です。場所は、港区の地下鉄白金高輪駅から徒歩で5分と便利なおところにあります。開院は2020年の6月27日で、地域の方々に知っていただくために内覧会を行いました。

なぜ東京に医療機関を作ったのか、不思議に思う方も多いと思います。敬和会は、これからの人口減少、超高齢化社会に対応するため、「敬和会ヘルス

ケア・スマートリンク」を整備しています。敬和国际医院はその一環として、東京、関東エリアの医療・介護・福祉のネットワーク創りの基点として、また、在日・訪日外国人に対して医療を提供し、敬和会の国

際化構想を進めるために、設立されました。加えて、今後増えるであろう外国人スタッフに、研修の場を提供するためでもあります。開院の準備等には、院長補佐の俞剛先生に尽力をいただきました。俞剛先生は、中国上海出身で東京医科歯科大学心臓血管外科非常勤講師として大分岡病院とは古くから交流がある先生です。副院長は、白尾國明大分大学医学部特任教授（腫瘍・血液内科学）です。白尾先生は、大分県におけるがん診断・治療の中心者として活躍されており、その他、麻布十番で開業されている箕山昭陽先生、北里大学心臓血管外科教授の宮本隆司先生（大分医大卒）が加わって診療にあたっています。

敬和国际医院はコロナ禍のなかでも、着実に歩を進めています。



待合室



敬和国际医院 院長
大橋 京一



甘酒のいちご大福

敬和会管理栄養士の
とっておき
レシピ

【材料 4個分】

白玉粉 60g 白こしあん 80g
甘酒 100cc いちご 4個
片栗粉 大さじ1

1個分 エネルギー120kcal／炭水化物25.7g
たんぱく質3.5g／塩分0.05g

〈下準備〉

- ・いちごはヘタを除いて洗い、水気を除き、根元の白い部分を切っておく。
- ・白こしあんはペーパーで水気を除き、4等分しておく。

【作り方】

- 1 いちごを1個ずつ白こしあんて包んで丸める(あんはヘタを取った方を多めにし、て丸みをもたせる)。
- 2 白玉粉を耐熱容器に入れ、甘酒を少しずつ加え、ダマが残らないよう溶きのばす。ラップをふんわりかけ、電子レンジで加熱する(500W1分位)。
- 3 一部プクツともち状になったら、全体を混ぜる。もう一度ラップをふんわりかけ、電子レンジで加熱する(500W1分位)。
- 4 均一なもち状になったら、全体を混ぜる。片栗粉の半量をふったバットに移す。
- 5 上から残りの片栗粉をふり、手で均一な厚みになるように広げる(12×12cm位)。粗熱が取れたら4等分に切る。
- 6 白こしあんて包んだいちごを白玉で包む。とじめを下にして皿にのせる。

※レンジで加熱することで甘酒のアルコール分をとばせます。ノンアルコールの甘酒を使用してもよいです。

砂糖と水の代わりに
栄養価が高い甘酒を使用した
簡単レシピ。
一足先に春を味わって見ませんか。



管理栄養士
東楓歌さん



【いちご】

ビタミンCが多く含まれており、抗酸化作用があります。また、いちごのすっきりした甘さは、虫歯予防に効果的である、キシリトールによるものです。



【甘酒】

甘酒に含まれるブドウ糖は、麹菌によって既に分解されているため、効率よく体内にエネルギー源を吸収します。その他にもアミノ酸、ビタミンB群、ミネラルなどが豊富に含まれており栄養価が高いため、「飲む点滴」とも言われています。

フォーカスVOL.14

あなたのことをもっと知りたい。敬和会で働く輝く人にインタビュー！



大分豊寿苑
入所 介護職員

田北 初恵さん

お花いっぱいの大分豊寿苑にしたい！

私は大分豊寿苑の入所で働いています。建物の2、3階がその棟で90名という多くの入所者さんが在宅復帰を目指して日々リハビリに取り組んでいます。仕事の内容は入所者さんの身の回りのお世話や話し相手になること、食事の配膳や下膳、花の世話などです。園芸が趣味という強みを活かして、季節の花を入所者さんに見ていただきたく、春はパンジーやチューリップ、夏は千日紅やマリーゴールドなど、グリーンカーテンではゴーヤやアサガオなどを育て、施設の中庭に花が絶えないように手入れや世話をしています。

はじめは私一人で花の手入れや世話をしていたのですが、入所者さんたちのリハビ

リとレクリエーションを兼ねて一緒に植えたリ、水やりをしたり、きれいに咲いた花で押し花やポプリを作ったりしています。「リハビリ頑張るから帰る時、この花ちょうだい」や「こんなにたくさんさんの花に囲まれて大分豊寿苑に入れてよかった」など入所者さんからいただく言葉が仕事の励みになります。ベランダで水やりをしていて、入所者さんや職員の方々が窓越しに声をかけてくれたり、手を振ってくれたりするのに気づくと温かくうれしい気持ちになります。

これからも大好きな園芸で皆さんに喜んでいただき、笑顔にするお手伝いをしていきたいです。



この街・この人

プロカメラマンから昔話のキャラクターのねんど人形作りを始め、現在では、ねんど人形写真作家として大分で活躍する、渡邊和己さんにお話を伺いました。

渡邊和己さん

大分市森町在住。日本に伝わる昔話のキャラクターをねんどで作り、昔話の伝承の地を背景に撮影を行い、物語を伝える活動をしている。



活動拠点を大分にした理由を教えてください。

もともと大分出身ですが、関東に出た時に、異業種交流で老若男女を問わず横とのつながりを求め

別府の八幡竈門神社は、最近話題になっている漫画アニメ「鬼滅の刃」の聖地と言われています。その神社には三本指の鬼の話が伝わっていて、それをモチーフに作った鬼の人形が今一番のお気に入りです。その人形を持つて、実際の伝承地である八幡竈門神社で撮影を行いました。もうひとつはカチカチ山うさぎとためぎの表情です。初めて人形に表情をつけたもので気に入っています。

最も印象的な作品をご紹介します。

はちまなかまど



渡邊和己写真事務所

大分市金池南1-5-1 J:COM ホルトホール大分2F
大分市産業活性化プラザ 創業支援ルームA6
TEL/FAX:097-507-2127
<http://www.nendonoshashin.com>

今後の目標は何ですか？

これからも人形を作つて、その伝承地で写真や動画を撮りたいというのが変わりますが、本を出すことが昔からの夢で、大分と日本の昔話をテーマに写真絵本を出したいです。また、子どもたちのためにねんど教室を開きたいので、ねんど人形作りを教えられる人を増やしたいです。誰でもできるようなデザインにして、ねんど人形作りが楽しいと思えるように、そして、それが仕事として認められ、「子どもの夢」の一つに加えられるとうれしいです。

していることを感じました。大分では、いまだに縦のつながりが意識され、出る杭は打たれる傾向にあります。そんな風潮を変え、大分の若者が大分で活躍できる場を作りたいと考えました。芸術がビジネスとして成り立ち、その道のプロが育つところこそ本当の文化芸術振興につながると思います。



さゆりレディースクリニック 院長西馬小百合先生



頼れる地域のドクターの意外な一面！

フラダンスでリフレッシュ！ 悩める女性をサポートする

2017年1月に大分市明野にさゆりレディースクリニックを開院し、早くも4年が過ぎようとしています。女医として産婦人科医として、社会のニーズの多さを肌で感じながら日々診療に当たらせていただいております。昨春秋にはさゆりレディース鍼灸を開院し、鍼灸師と共に薬に頼らない女性疾患のケアにも力を注いでおります。

私の息抜きはフラ（フラダンス）で、フラ歴は約11年になります。小さな悩み事は踊りの世界に没頭していると気づけば吹き飛んでいます。昨年ついにクリニックに自前スタジオを併設し、月に4回フラダンス教室を開催し講師を務めています。

ます。新たなご縁が繋がりが、少しずつ生徒さんも増えてきています。コロナ禍で社会との繋がりが希薄化し孤独を感じていらっしゃる方が増えてきているように感じます。ご興味のある方、一緒に汗を流してリフレッシュしてみませんか。心も体も癒やされますよ。

女性学業、仕事、家事、育児、介護とさまざまな仕事をこなさなければなりません。多忙だからこそ、自分の時間を大切にしたいものです。これからの微力ながら女性の心と身体の健康作りのお手伝いをさせていただき、地域の悩める女性のサポーターでありたいと常に願っております。



医療法人あろは会 さゆりレディースクリニック

〒870-0165 大分市明野北4丁目1番1号 山本ビル3F
TEL.097-535-7322

診療科目 産婦人科・内科

診療時間

月・火・木・金	午前 9:00~12:00
	午後 14:00~18:00
水	午前 9:00~12:30
土	午前 9:00~午後14:00

休診日 水・土曜午後・日曜・祝日

社会医療法人敬和会



大分岡病院

〒870-0192 大分県大分市西鶴崎3-7-11
TEL.097-522-3131 FAX.097-503-6606
TEL.097-503-5033 (地域・患者総合支援センター)

大分
リハビリテーション病院

〒870-0261 大分県大分市志村字谷ヶ迫765番地
TEL.097-503-5000 FAX.097-503-5888

介護老人保健施設
大分豊寿苑

〒870-0131 大分県大分市皆春1521番地の1
TEL.097-521-0110 FAX.097-521-1247

在宅支援クリニック
すばる

〒870-0147 大分県大分市小池原1021
TEL.097-551-1767 FAX.097-551-1722



佐伯保養院

〒876-0814 大分県佐伯市東町27番12号
TEL.0972-22-1461 FAX.0972-22-3063

敬和会 Topics

会食時のコロナ対策感染防止 5つの小^こ

東京都が会食時の感染防止対策として『5つの小(こ)』を守ってほしいと提案しました。「**少人数 小一時間 小聲 小皿 小まめ**」の5つです。

年明けの新年会や年度末の送迎会、新年度の歓迎会など、シーズンの会食が多くなる時期です。これまでの大人数での会食スタイルとは、変わってきています。周囲に配慮した「こころづかい」の「こ」も含めて、コロナ禍の感染対策にしっかり取り組んでいきましょう。

**手指消毒、うがい、手洗い
も忘れずに！**



心臓発作を予防しよう

急激な寒暖の差によって起こる心臓発作や脳卒中のことをヒートショックと言います。冬は気温が低く、室内外での寒暖差が大きいため、全身の血管に負荷がかかりやすく、発作を起こす可能性が高まります。ヒートショックを予防するには、寒暖差をつくらないことです。

例えば、外出時は暖かくして少し動いてから出かける。暖かいリビングから出る時は何か羽織る。お風呂に入る時は、脱衣所を前もって温めておく。夜間トイレに行く時はスリッパを履く、便座を温めておく。など、ちょっとした工夫で防ぐことができます。

家族や大切な人が心臓発作で目の前で倒れてしまったとき、適切な対応ができるように、一次救命処置法やAED(自動体外式除細動器)の使用法について日頃から学んでおくことも必要です。

冬の時期、家族で心臓発作の予防について話してみてはいかがでしょうか。

心臓疾患による突然死は、皆さんで防げます！

